

カルメル  
靈性センターニュース

2024年9月 411号

## 目次

目次	1
心の泉	2
通信深読お申込みのご案内	23
カルメル会の企画案内	24
東京	25
京都	27
名古屋	32
キリスト教放送局F E B Cのご案内	33
諸所の企画案内	34
靈性センターニュース郵送終了のお知らせ	38

# 心の泉



宇治カルメル会 聖ヨゼフと幼きイエス像

DE IMITATIONE CHRISTI  
キリストにならう バルバロ訳



**第四巻 聖体拝領への信心の勧めはここにはじまる**

**第二章 聖体の秘跡において、神のいつくしみと愛とが  
人にあらわされる**

**1 子**

《主よ、私はあなたのいつくしみと大いなるあわれみとに信頼し、病人としては医者、飢え渴く者としては生命の泉、物乞いとしては天の王、しもべとしては主人、被造物としては創造主、慰めのない者としては、慰め主であるあなたのもとに近寄ります。

しかし、あなたのほうから私のもとを訪ねてくださるとは、どうしたことでしょう？（ルカ1・43参照）。あなたは、私が何者だと思ってご自身を私にお与えくださるのですか？私のような罪人がどうしてみ前に出ることができ、あなたがどうして罪人のもとにお下りになるのですか？あなたはしもべを知り、その賜物を受ける価値のないことをご存じです。

私は自分のみじめさを告白し、あなたのいつくしみを認め、あわれみをたたえ、その愛に感謝します。主よ、あなたのなさることは、私の功徳によるのではなく、ただあなたのあわれみによります。それはあなたのいつくしみをよりいっそう私に知らせ、私の心にいっそう愛を強め、私の謙遜をいっそう深めるためです。したがって、それはみこころを喜ばせることです。あなたは、そうすることを命令されたのですから、あなたの恵みを喜び、自分の罪がそのさまたげにならないように、ひたすら希望しています。

**2 尊敬と謙遜**

ああ、甘美でいつくしみに満ちたイエスよ、私たちはそれほどの敬愛、どれほどの感謝、どれほどの称賛をあなたに向けなければならないことでしょう！あなたは、その至高の威厳を誰も説明することができないあなたのんからだを、私たちに受けさせてくださるからです。しかし私は、十分な尊敬をあなたに獻げることができません。

敬虔に主に近づく時、聖体拝領において何を考えるべきでしょうか？み前にへりくだり、あなたの無限の愛をほめたたえる以上の、よい心がけがあるでしょうか？神よ、私はあなたを称賛し、永遠に賛美します。深くへりくだって、自分のみじめさを思い知り、まったくあなたに服従します。

**3 あなたは私のところに来てください！**

主よ、あなたは至聖なるお方であり、私はもっともみじめな罪人です。私はあなたに向かって目を上げる価値もないのに、あなたは私のほうにかがんでくださいます。あなたは私に近づいて、私と共にいることを望み、あなたの宴うたげに私を招いてくださいます。あなたは、天の糧、天使のパンを私に食べさせようと望まれます。そのパンとはあなたご自身であり、天からくだって、世に生命を与える生きているパンなのです（ヨハネ6・33、51参照）。

二〇二五年へ向けて

## 聖年・テレーズ列聖百周年

2024-9



主イエス・キリスト、あなたは  
わたしたちが 天のおん父のように  
いつくしみ深い者となるよう 教え、  
あなたを見るものは おん父を見る と言われました。  
み顔を示してくだされば わたしたちは救われます。

9月15日：悲しみの聖母に捧げられた祝日

29日：大天使たち（ガブリエル、ミカエル、ラファエル）の祝日

30日：テレーズの命日（祝日は翌日 10月1日）

わたしを迎えて来るのは  
「死」ではなく 神さまです！

わたしは死ぬのではありません、  
命に入るのです。

～死を前にしてのテレーズの言葉～



「命日」が眞の「いのちの日」となるように  
わたしたちもテレーズのまなざしのもとに  
日々の出来事を神の慈しみのうちに  
生きていくことができますように・・・  
心も体も眞の命の水に飢え渴き  
日々の生活の中で常に  
眞の命キリストを  
求め続けることができますように・・・

伊従 信子（いよりのぶこ）  
ノートルダム・ド・ヴィ

## フランシスコ教皇の言葉 ⑤

マザー・テレサはよく、「相手の言語が話せなくても、ほほ笑むことはできます」と言っていました。彼女のほほ笑みを心に刻み、苦しんでいる人と分かち合いましょう。

「外国語が話せない、だから外国に行けない」という言葉を、何度も聞いたことがある。だが、私の経験では、大変な努力をして、行く先の外国語を多少ものにしたとしても、言葉はあくまでも二次的なものでしかない。もちろん、会議など何らかの問題を詳細に検討し、対応策を出していかなくてはならないという場合には、ある程度、その国の言葉を習得していなければならぬ。だが、旅行程度であれば、言葉ではなく、その人の心、その人のハートだと言っていい。相手と仲良くなりたい、相手と交わりたいと思う心がないならば、相手もそれを察して、その程度の対応しかしてくれない。

マザー・テレサの「相手の言葉が話せなくても、ほほ笑むことができます」という言葉は、人と人との交わりが、単なる言葉、頭の問題ではなく、基本的に心と心の交わりであることを、私たちに指示している。「ほほ笑み」は、「自分はあなたに害を加える者ではない、あなたの敵ではない」という心を伝える、人間に与えられた最上の手段なのだろう。

(P. 九里)

# 十字架の聖ヨハネのこぼれ話（193）

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

## 書簡から（1）

ヨハネ修士は、人間性と聖性に関する偉大な教訓を書簡の中に記しています。不幸なことに彼の手紙は、私たちにはまったくわずかしか残されていません。けれども彼の人格の諸側面を知るには、それで十分です。実は、彼の書簡を整理する中で、私は、彼の人間的、神的、使徒的な諸価値について書くことになりました。

「人間的諸価値」：たとえば、感性や人間性、尊敬をもって他者の問題に入って行くことができること、友情に対する誠実さ、自由や勇気、受取人の幸福を探求すること、現実主義、時折、私たちが思うほど重要でない事柄にあまり重きを置かないように教えること、解決策や助言の明晰さ等々。

「神的諸価値」：信仰や対神徳的な事柄に対する感覚や、あらゆる物事や人生の諸状況における神の卓越性や首位性への感覚。あらゆる試みにおける謙遜など、彼が教えていた事柄を彼が実際に生きることを通して、相手に印象づけながら模範を示すこと。

「使徒的諸価値」：これらの諸価値を手紙の受取人の具体的な場合に適応させることによって、人間的なものと神的なものとの結びつきを実に明らかにし、理解させること。本の中でも教えていることを、一適当なバランスをもって教えること。たとえば、ある具体的な人に暗夜について、その危機にどのようにふるまうべきかについて教えている。手紙によるこれらの勧告の中に、同じテーマに関して何ページも何ページも書いた人（訳者注：ヨハネのこと）の同じ考えが見出される。使徒的諸価値は、書簡による使徒職の内により良く見出されるかもしれない。

(P. 九里訳)

## 年間 第22主日 (B)

(マルコ7：1-8、14-15、21-23)

本日の福音朗読は、真の宗教とは何かということを語っています。これは単に規則や、律法、伝統、典礼などを外面的に綿密に遵守するということではありません。これは、他の人間の中に神の愛ある現存が分かることで表わされる神との愛ある従順な関係であります。私たちはそれらを神によって教えられて愛深く、謙虚な奉仕とします。祈り。儀式、秘跡。宗教的慣例は、日常の生活の中でこの真の宗教を実行する助けをします。

ユダヤ教徒たちは、律法に対して自分の利益に役立つだけ盲目的な服従を示し、そのために律法の精神そのもの、とりわけ神と隣人への愛を無視しました。イエスは、人を厳密な宗教的な意味で汚すのは外から入ってくるものではなく、心の中で生み出されるものであるとユダヤ教徒たちに教えました。物はそれ自体厳密な宗教的な意味で清いか汚れているかを考えることはできません。それらを汚すのは人間です。個人個人の行動が意図と望みを示しています。神が造られたものは全てよいものです。それらは、神の意図と異なる目的で使用されたときにのみ悪となります。神の律法は解放する力です。これは人間の根源そのものである神に人間を戻します。律法の精神であり目的です。

アビラの聖テレジアは、内的なもの的重要性について語っています。「あなたの内にあなたの神が住んでいます。内に入って、神を見て、話しかけ、耳をかたむけ、そしてあなたの心の中で神ととどまりなさい。」そして確かに、私たちは自分自身の中に天国を持ちます。天の主がそこにおられるからです。」

イエスは、内部からくる悪のタイプについて指摘しています。「心の中からくる悪は、偶像崇拜、窃盗、殺人、不倫、貪欲、惡意、詐欺、好色、ねたみ、不敬、傲慢、鈍感」です。これら全ての悪は内部からきて、人を汚れたものになります。

では、あなたの心の中に何があるでしょうか？ひとりで時を過ごし、あなたの生活を静かに振り返るとき、何を見るでしょうか？あなたの内的生活をつくっているのは何でしょうか？本日の福音のメッセージは、内的なものをよく考えるよう私たちを招いています。もし私たちの心の中に、前記のような罪があるならば、告解して清くして頂かなければなりません。そのとき始めて内に住む神と出会います。そして神なるイエスの現存が目に見る全てのために輝くのです。私たちの心は、私たちの真の気遣いであるべきです。

( Sr. Pauline )

## 年間 第23主日

(マルコ7：31—37)

今日のみことばは、イエスがティルス地方を去って、地中海沿いの町にあるシドンを経由して、さらにガリラヤ湖の南東にあるデカポリス地方を取り抜けて、ガリラヤ湖に来られた時の出来事です。

人々はイエスのところに、耳の聞こえない、舌の回らない人を連れてきて、その上に手を置いてくださるようにと願います。イエスはこれまでにも様々場所で、病人に手を置いていやされましたので、自分たちが連れて来た人をいやしてくださいことを願ってイエスにその様に願ったのでしょうか。

イエスはご自分のなさろうとしておられることが、人の目に触れられることを避けてこの人だけを群衆の中から連れ出され、その人の具合が悪い部位に触れられ、両耳には指を差し入れ、舌にはご自分の唾をつけて指で触れられます。

そして天を仰いで深く息をつき、人々に聞こえ理解できる言葉で「エッファタ」開けという言葉を発せられます。イエスがなさることは魔術のようなものではありません。奇跡を行う霊能者が何かを行う前に、精神を集中する動作に似たものをなさるのでなく、ご自分が神に向かって祈られることを、人々の前で明らかにし、癒しを行われました。

イエスが「開け」という意味の言葉を発せられて後、耳が聞こえず舌の回らない人が癒されたのは、神の力が働いていることを明らかにされるためであり、その出来事は、人々への神の愛を表す出来事であったのでしょうか。

人々に、だれもこのことを話してはいけない、とイエスは口止めをされるのですが、口止めをされればされるほど、人々はかえってますます言い広めたことが語られており、そこにイエスを受け入れる人の姿が描かれています。それはイエスを遣わされた、天の御父である神を受け入れる人の姿でもあるのでしょうか。

私たちは、イエスを受け入れているでしょうか。イエスを遣わされた天の御父である神を受け入れているでしょうか。愛の業を行われる聖靈を受け入れているでしょうか。神の子とされた私たちが、神への信頼のうちに、神とともに歩むことができます様に。私たちの日々の歩みが、良い宣教の歩みとなります様に。

(Fr. 古川利雅)

## 年間 第24主日 (B)

(マルコ8：27-35)

今日の福音は、マルコによる福音の中の重要な場面です。驚いたり不思議に思ったりする場面を目撃した弟子たちは、とうとうメシアとしてのイエスの姿を見ます。主は、ご自分が苦しむメシアであり、また、私たちだけではなくご自分の人生の中心に十字架があると説明されました。

イエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活する、とはっきり告げました。するとペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めましたが、イエスは逆にペトロをこう叱りました。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」

「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている」と叱られたペトロはさぞかし傷ついたことでしょう。何しろイエスを愛するが余り、イエスが苦しんで殺されると聞いて心配したに過ぎないからです。しかしイエスの言葉は強烈であっても私たちの生涯に大きな役割があります。イエスが苦しみと拒絶と死をくぐることが神の救いのご計画だという神秘を弟子たちに明らかにされました。この苦しみの神秘を理解するためには、神への深い信仰と委託が必要です。イエスの苦しみと死の神秘は、神のみわざだからです。

イエスは、「自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と呼びかけます。私たちは、キリストの十字架について黙想しましょう。この世の社会や近隣地域においてイエスの苦しみと十字架は今も続いています。私たちが信仰のために苦しむ時、他者を救うために犠牲を捧げる時、そして他者の重荷を軽くするために十字架を背負う時、これらは救いをもたらします。こうした犠牲を、人の目ではなく、神の目から見なければなりません。私たちのあらゆる苦しみ、犠牲、痛みは神の祝福を伴う償いのわざなのです。

(Sr.Paulina)

## 年間 第25主日（B年）

（マルコ9：30－37）

聖書で面白いのは、人の思い、感情に率直であることでしょう。人の内面の綺麗な思いだけでなく、人の不完全さ、罪も率直に指摘しているところが面白く感じられます。

今日の福音では、イエスがご自身の死と復活を予告したすぐ後、弟子たちはすぐに自分たちの関心事に目が戻り、道中自分たちの内で誰が一番偉いかと言い合っていたとのことです。非常に面白い、コメディーのような描写です。おそらく実際の会話の内容はそれ程直接的でなく、婉曲的にそのようなことに関心を抱きつつ互いに関わっていたということかもしれません。しかし、福音は、そのような取り繕った仮面を剥ぎ取り、結局のところ彼らは誰が一番偉いのかを道々問題にしていたのだと、問題性をさらけ出して私たちに提示しています。

私たちの日常もそうなのでしょう。いくら綺麗ごとで神様のことについて言葉を並べ、語ったとしても、その人の日常に目を向ければ、結局は誰が一番偉いのか、自分が偉くなれるのかで頭が一杯なのでしょう。

使徒たちの集団は奉獻生活と重なるでしょう。奉獻生活に身を捧げていると見なされながら、肩書が好きで追い求めている人がどれ程多いことでしょうか。もちろんそうではない真に謙遜な目上も沢山います。しかし、中にはいかにして肩書を得るか、そしてそれを手放したくないかという態度が生き方から煌々と照り映えているように見える方もいます。

マルコ福音書は、十字架を担う道のりに成長があることを描いています。自分を捨て、自分の十字架を背負って私に従いなさい、というイエスの言葉の後に、今日の福音があります。十字架による死と復活を告げ、十字架を担うことを告げられても弟子たちはこの有様です。このような有様の弟子たちにキリストは、私の名のためにこのような小さな子供、小さな者を受け入れよと言われます。それが十字架の道の一つの成長過程です。

弟子たちはキリストの十字架の死と復活を体験した後に変えられて、真に自分が十字架にかかる者へと変えられて行きました。神の導き、全ての人に一人一人の道があることに信頼したいと思います。

(P.志村)

## 年間 第26主日 (B)

(マルコ9：38-43, 45, 47-48)

「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちに従わないので、やめさせようとした。」

今日の福音には「耳が痛い」イエスの教えが幾つも載っています。当時の弟子たちも、せまい視野で自分たちの宣教活動を捉えていました。

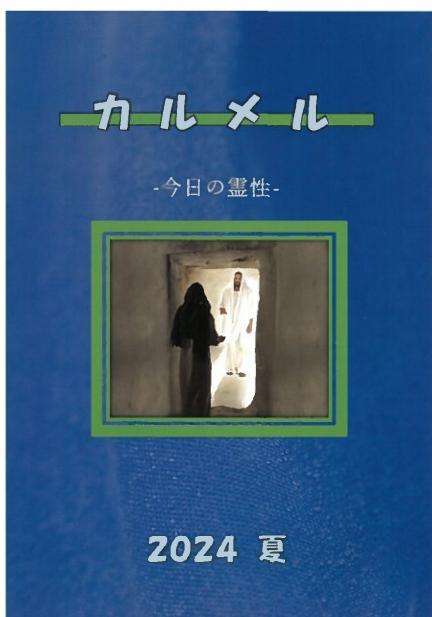
人が一緒になると必ず問題が発生します。教会内でも敵対関係や否定的な反応が見受けられます。しかし同時に、誠実に生きる善良な未信者に教会外で出会います。弟子は、部外者の言動を理解できずに「先生、お名前を使って悪霊を追い出している者を見ましたが、わたしたちに従わないので、やめさせようとした」と報告すると、イエスは「やめさせてはならない。わたしの名を使って奇跡を行い、そのすぐ後で、わたしの悪口は言えまい」という意外な返しをしました。つまり、私たちは一致と平和を目指して働くべきで、誤解や不寛容に陥ってはならないのです。私たちは、キリスト者的一致のために家族、小教区や自分たちの住む街で取り組みを始め、その全部が一致と平和に貢献するものでなければなりません。

福音によると、イエスに逆らわない者は、イエスの味方です。イエスは、ご自分を求める人を決して追い払わないので、私たちも救いのミッションの中で他者を拒否してはいけません。他者の中に神の恵みが宿っていることを認め、全員の救いのために働きましょう。イエスの名において協働して贖いのわざを完成させましょう。これこそ偉大な福音宣教です。「収穫は多いが、働き手が少ない」中、私たちは他の人たちと手を合わせて一生懸命働く必要があります。

私たちは、神の道具として、他者を祝福し、彼らが使命を果たせるように励ます役目があります。その行いの大小にかかわらず、思いやりを込めたあらゆる善行は報われるでしょう。私たちが神の愛・平和・喜びの運び手となれますように！

(Sr.Paulina)

# カルメル誌 新刊案内



2024年 夏号 No.393

カルメルの外のカルメル

—教会の外から見られたアビラの聖テレジアと  
十字架の聖ヨハネ(6) 鶴岡賀雄

テレーズ列聖百周年に向けて

—レオニー 妹テレーズの「幼子の道」を行く(2)  
伊従信子

陶器師の山暮らしの日々から

ラウダート・シ=神のいのちへの道(2) 椿 権三

風に吹かれて再び(8)—無常の果てに 原 造

キリストの説かれた 幸いなる道(10) 九里 彰

靈的研究会講義録(24)—聖書・祈り・愛について  
奥村一郎

若者の声

Y I



## 2024年 四旬節特別号

「わたしを愛に導くのは信頼、ただ  
信頼だけです」(聖テレーズのメッセージ)  
聖テレーズ生誕 150 周年記念 教皇  
フランシスコ使徒的勧告「信頼」に導かれて

わたしは愛になりましょう

—愛の道を飛んでいくために 今泉 健

詩「むしられたバラ」より

—テレジアの愛の道 九里 彰

テレーズの信頼の道・小さい道と

ヤコブ・イスラエルにおける小さい道 志村 武

現代の闇を照らす灯火

—テレーズの進行の試練 片山 はるひ

小さな 偉大さ

伊従 信子

ご案内

1冊 580 円 A5 サイズ 50~70 ページ

サンパウロ・ドンボスコ書店・イグナチオ教会案内所・上野毛教会信徒ホール本コーナー・  
各カルメル会黙想の家 他にてお求め下さい

●送付ご希望の方は、1冊 580 円 (+送料 140 円) を下記へお振込み下さい

●年間での継続送付ご希望の方は、年会費（年 5 冊：春夏秋冬+特別号 計 3,600 円）を  
下記へお振込み下さい

郵便振替:00190-4-195457 跡足カルメル修道会

●お問い合わせは、事務担当：内田幸子宛に上野毛修道院へ手紙かファックス、又は e-mail で。

〒159-0093 世田谷区上野毛 2-14-25 Fax: 03-3704-1764

E-mail: carmelshi.jimu@gmail.com

# 跣足カルメル修道会HP（International）

跣足カルメル修道会ローマ本部のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。

<< Communications (時事通信) >>

2024年7月6日

## 跣足カルメル修道会 尊者イエスのアンナ修道女の列福式



大きな喜びとともに皆様にお知らせいたします。  
教皇フランシスコは、2024年9月29日(日)に、ベルギーのマリーヌ・ブ  
リュッセル大司教区で開催される尊者イエスのアンナ修道女の列福式を司  
式されることが公式発表されました。

跣足カルメル修道会のイエスのアンナ修道女は、カルメル修道会でのテレ  
ジア的改革の成功の歴史全体において、その礎石となった人物です。彼女  
は1545年11月25日にスペインのメディナ・デル・カンポで生まれ、1621年3  
月4日にベルギーのブリュッセルで帰天しました。

彼女は76年間の生涯において、テレジア的跣足カルメル修道会の最初の設  
立と、その後のテレジア的カリスマを次の世代へ継承していく過渡期に関  
わり、重要な役割を果たしました。

彼女は修道生活の最初の年月を、聖テレサの最後の人生12年の間、聖テレ  
サとともに親密に生きた事実によって特徴づけられています。これらの年  
月は、修道会の精神とアイデンティティを確立する上で重大な時期でした。彼女は晩年に、修道会のためにいくつかの勇気ある決定を成し遂げ、  
フランスとフランドルにテレジア的改革の繁栄と拡大をもたらしました。

(訳・注:小宮山延子)



## *En route avec Espérance*

PAPE FRANÇOIS  
BELGIQUE 2024

# いのちの言葉 9月

御言葉を行う人になりなさい。

自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。<sup>1</sup>  
(ヤコブの手紙 1・22)

今月のみ言葉の著者は、み言葉を聞くことと実践することこそ重要だと強調しています。事実、手紙はこう続きます。「自由をもたらす完全な律法を一心に見つめ、これを守る人は、聞いて忘れてしまう人ではなく、行う人です。このような人はその行いによって幸せになります」(ヤコブ 1・25)と。つまり、神のみ言葉を知りそれを生きようと努めることでわたしたちは自由になり、喜びを味わうのです。

「いのちの言葉」の実践が世界中に広まったきっかけは今月のみ言葉にあると言っても過言ではないでしょう。フォコラーレ運動の創立者キアラ・ルービックは、週に一度ないしは月に一度、聖書のみ言葉の一節を選んでその解説をしていましたが、彼女の話しを聞きに集まつた人々は、日々の生活の中でみ言葉を実践し、生きた実りをお互いに分かち合うようになり、やがてそこから一つになった共同体が誕生しました。こうしてみ言葉を生きるということが社会に与える影響が明らかにされていきました。

「とてもシンプルな試みでした。しかし、み言葉を生きた実りを共有し共に福音を生きるという『方法』は神のみ言葉を再発見する上で、20世紀のキリスト教世界に顕著な貢献を果たすことになりました。」<sup>2</sup>

御言葉を行う人になりなさい。

自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。

使徒ヤコブの手紙は、イエスが語った天の御国の現実をわたしたちが互いの間で生き、体験するために書かれました。神の言葉を聞きそれを守る人は幸いであること<sup>3</sup>、神の言葉を聞いて行う人がイエスの母であり、イエスの兄弟であること<sup>4</sup>、良い土地に落ちた種とは立派な善い心でみ言葉を聞き、よく守り、忍耐して実を結ぶ人のことである<sup>5</sup>と、記されています。

キアラ・ルービックは語っています。「一つひとつのみ言葉の中に、私たちに対するイエスの愛が表れています。み言葉を具体的に生き、自らのものにしてください。み言葉を実践する時、わたしたち自身や周りにも、あらたな命が溢れるの目にするでしょう。わたしたちがみ言葉そのものに変えられていくほどに福音を心から愛しましょう。わたしたちの内から溢れてくる福音が、周りの人にも豊かに注がれていくようになるためです。… 福音を生きることによって自分自身

や自分の限界、さまざまな束縛から解放されるのを体験するでしょう。そして、わたしたちの中におられるイエスが、力強くこの社会を愛によって新たにされるのを目にするでしょう。」<sup>4</sup>と語っています。

御言葉を行う人になりなさい。  
自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。

では、み言葉をどう実践できるでしょうか。周りを見回して困っている人のために大小の行いを通して出来ることはすべて実行しましょう。このような行いは社会の不正をただし、暴力に打ち勝ち、平和と和解を促進し、私たちの地球を尊重する心を育てるものです。

さらに、私たちの生活や職場の環境、ひいては地域社会に本当の意味での革命をもたらすこともできるでしょう。

より良い世界を築こうとする愛は、社会的にも、政治的にも具体的な行動をもたらします。最も社会的に弱い立場に置かれている人々に対するフォコラーレの共同体の思いは、ペルーの北部アマゾナス州にある海拔 2,330 メートルにあるラムドの町に「キアラ・ルーピック高齢者センター」を開設するに至りました。

センターはパンデミックの真っ只中に開設されました。現在、高齢の方、身寄りのない方が 50 名ほど入居しています。センターの建物もそうですが、家具や食器、食料品なども近隣の共同体の人々から寄付されたものです。センターの開設に至るまでには困難や障害もありましたが、2022 年 3 月に 1 周年を迎えることができました。一周年の祝賀会は 2 日間つづき、市の行政当局からの出席もありました。また大人や子どもたちがボランティアとして来てくれ皆が、高齢で孤独な入居者たちとこれからずっと家族のように接していくたいと語っていました。

御言葉を行う人になりなさい。  
自分を欺いて、聞くだけで終わる者になってはいけません。

パトリツィア・マツォーラと「いのちの言葉」編纂チーム

\*いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

1. 日本聖書協会『聖書 新共同訳』
2. キアラ・ルーピック『いのちの言葉』序文、F. Ciardi 監修、チッタノーバ社ローマ 2017, p.9
3. ルカ福音書 11・28 参照
4. ルカ福音書 8・21 参照
5. ルカ福音書 8・15 参照

連絡先：フォコラーレ 東京 03-3330-5619/03-5370-6424 長崎 095-849-3812  
E-mail:tokyofocfem@gmail.com ホームページ：<https://www.focolare.org/japan/>

# 新刊紹介

## ロザリオの祈り

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた  
ニコラオ・プレシェル神父の講話Ⅱ



Onoaki Katsue 著

中川博道師  
(カルメル会)  
《推薦》

教友社◎ 定価：1,650円(税込)

聖母マリアは、“イエスを愛し信じて生きるキリスト者の典型・模範”です（教会憲章53番）。ニコラオ師はロザリオを通して、日々私たちが、イエスの神祕をマリアとともに生きる道をわかりやすく説明してくださいました。

## ロザリオの祈り

聖マリアとともにイエスのいのちを生きられた  
ニコラオ・プレシェル神父の講話Ⅱ

【出版社】 教友社

【著　者】 小野崎良子：編

価格 1,650 円 (税込)

品番/ISBN: 9784907991807

発売/発行年月: 2022年3月

判型: A5

ページ数: 184

「ニコラオ神父様が、ロザリオの祈りを捧げながら歩いているときに、突然十五の玄義の流れが鮮明に示され、ご自分の中でまとまったその内容をわたしたちに語られました」（「はじめに」より）。ニコラオ師亡き後、師の薰陶を受けた信徒たちによって記録された講話が1冊の本に。中川博道師（カルメル会）推薦。

### 小野崎 良子(おのざき・りょうこ)

1950年夕張市大夕張の炭鉱の町に生まれる。小学4年生の時、「クリスマスにはプレゼントがもらえる」という級友の誘いに乗り、高校卒業まで熱心にカトリック教会に通う。その後地元を離れ旭川の学校に進学。青春を謳歌する日々の中、ふと感じた「空虚さ」を確かめるために再度教会(大町教会)を訪ねる。そこでニコラオ神父様に出会い受洗にいたる。

39年間の教職生活を終えた後、ラジオで流れたキャロル・サック宣教師の歌とハープに触発され、日本福音ルーテル社団主催「リラ・プレカリア(祈りのたて琴)研修講座」にて2年間の養成を受ける。現在は求めに応じて、病床にある方、高齢者などを訪問し歌とハープによる祈りをお届けしている。

### ニコラオ・プレシェル神父

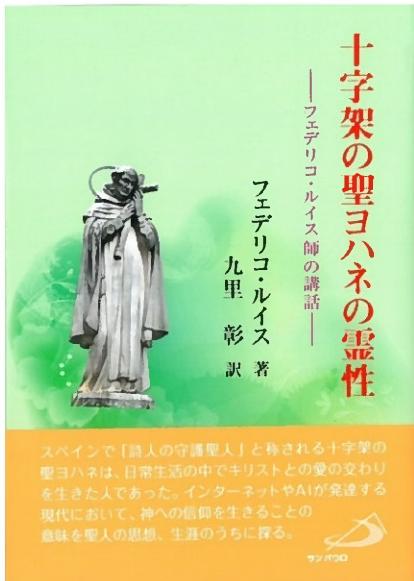
1921年、(旧)チェコスロバキアに生まれる。1940年、ドイツ軍無線通信兵として従軍。

1946年、フランシスコ会に入会(ドイツ・フルダ管区)し、1952年、司祭に叙階される。

1953年、来日。1956年、カトリック名寄教会着任。以後、美唄教会、大町(旭川)教会、枝幸教会、稚内・枝幸教会、富良野教会にて司牧。

2001年以後、フランシスコ会札幌修道院、月形町藤の園にて療養する。

2007年1月6日、月形町藤の園にて帰天(85歳)。



## 『十字架の聖ヨハネの靈性』

フェデリコ・ルイス師の講話  
〈十字架の聖ヨハネ・靈性神学研究の第一人者〉

著者：フェデリコ・ルイス

訳者：九里 彰

判型：B6 判並製

ページ数：184 ページ

価格：本体 1,600 円+税

ISBN : 978-4-8056-3918-4 C0016

発行：サンパウロ

スペインで「詩人の守護聖人」と称される十字架の聖ヨハネは、日常生活の中で神との親密な関係を生き、キリストと、隣人との愛の交わりを生きた人でした。自身の神体験を詩で表し、自らそれを解説し、著作として残しています。彼は決して近寄り難い人物だったわけではなく、バランスの取れた温厚な人でした。

インターネットや AI が発達する、「靈性の時代」といわれる現代において、神との出会いを生きる真の意味を、十字架の聖ヨハネの思想、生涯の中に探ることができます。

十字架聖ヨハネを正しく理解することは、靈性を正しく理解することの基礎となっていました。

### フェデリコ・ルイス・サルバドル

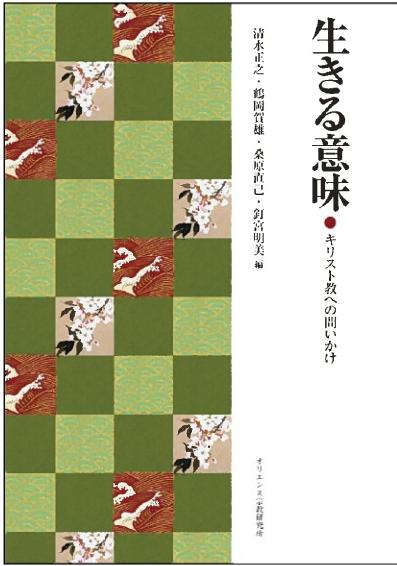
1933 年スペイン、バレンシア生まれ。1950 年跣足カルメル修道会入会。

1957 年司祭叙階。ローマ・カルメル会国際神学大学テレジアヌム教授。

2018 年 10 月 27 日マドリードにて帰天。享年 85 歳

### 九里 彰

カイルメル修道会司祭。1981 年上智大学大学院哲学専攻、博士後期課程修了。1990 年カルメル会入会。1997 年司祭叙階。1999~2002 年スペイン留学。カルメル修道会 元日本地区総長代理。現在、金沢広坂修道院院長



# 書籍案内

## 生きる意味

### ●キリスト教への問いかけ

清水正之・鶴岡賀雄・桑原直己・釘宮明美 編

A5判・312頁・2500円+税

ISBN978-4-87232-100-5

東日本大震災と原発事故によって喚起された「生きる意味」という愚直な問い。その答えを示すことこそが、「宗教」である。グローバル化に伴う経済格差、労働のあり方、宗教の役割など——危機にさらされている人間の救済の道を探る。

### ——目次——

- 序 「生きる意味への問い合わせ」がなされる場をめぐって／鶴岡賀雄
- 1 東日本大震災と宗教／中下大樹
- 2 宗教と社会と自治体の災害時協力／稻場圭信
- 3 東日本大震災に思うこと／佐藤純一
- 4 脱原発の倫理／久保文彦
- 5 何のために働くのか／神谷秀樹
- 6 グローバル化する経済の中の人間／勝俣 誠
- 7 私たちの社会に希望はあるか？／宮台真司
- 8 関係の倫理学／清水正之
- 9 宗教が医療・医学に果たした役割、果たすことが期待されている役割／加藤 敏
- 10 V・フランクルのロゴテラピー／桑原直己
- 11 「神の子となる」——カルメルの靈性と共に／★九里 彰★
- 12 「おかげさま」の言語化と生き方による靈性化／中野東禅
- 13 エディット・シュタイン『十字架の学問』への道とその靈性／釘宮明美

オリエンス宗教研究所 TEL:03-3322-7601 FAX:03-3325-5322

ご注文は全国のキリスト教書店、オリエンスHP、FAX、ネット書店などへ



# 愛と英知の道

—すべてのための靈性神学—  
タカラ・サンジョントン著



# 愛と英知の道

—すべてのための靈性神学—  
タカラ・サンジョントン著

岡島 禮子 監訳  
九里 彰 共訳  
三好 洋子 渡辺 愛子 共訳

西洋と東洋の神秘主義の伝統に辿り着いた著者が、21世紀というグローバル化し、「地球家族」となった現代世界のすべてのキリスト者に遺した靈的生き道の道しるべ。「すべての人は、聖職階級に属している人も、あるいはそれによって牧されている人も、皆聖性へと召されている。『あなたが聖なる者となること、これが神の望みである』と使徒が言っているとおりである」(「教会憲章」39)。本書は、十字架の聖ヨハネが16世紀に向けてなしたこと、「21世紀に向けて行なおうとする、ささやかな試みです。言いいかえると、その目的は、命の水を渴望する人たちへ、観想的な祈りを教えることです。筆者は、主にキリスト信者を念頭に置いて筆を進めますが、真理の探求において私どもと心を一つにしておられる方々にも、本書を勧めています。

第一部 キリスト教の伝統	第1章 背景(1)
第二部 対話	第2章 背景(2)
第三部 現代の神秘的な旅	第3章 理性対神祕主義
	第4章 神祕主義と愛
	第5章 東方のキリスト教
	第6章 愛を通して生まれる英知
	第7章 科学と神祕神学
	第8章 修徳主義とアジア
	第9章 恨根的なエネギー
	第10章 英知と宇宙
	第11章 信仰の旅
	第12章 暗夜浄化の道
	第13章 愛のうちにある花嫁と花婿
	第14章 ～愛のうちにある社会活動の神祕主義
	第15章 ～愛のうちにある花嫁と花婿
	第16章 ～愛のうちにある花嫁と花婿
	第17章 ～愛のうちにある花嫁と花婿
	第18章 ～愛のうちにある花嫁と花婿



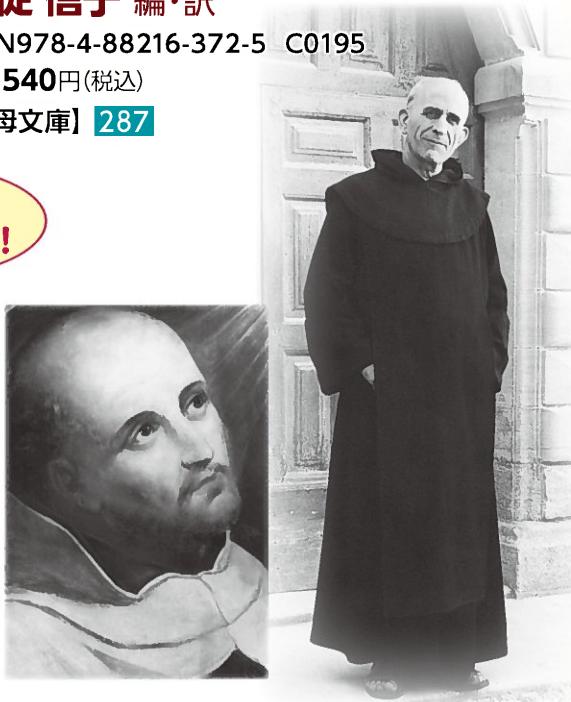
William Johnston S.J. (1925-2010)  
北アイルランドのベルファストに生まれる。  
イエズス会に入会し、26歳で米日。  
32歳で司祭に叙階され、以後、英語、英文学、宗教を上智大学などで講じるかたわら、東西の宗教思想、特に神秘主義の研究と普及に尽力。ペドロ・アルベート・マース・マートン、ダライ・ラマ、永井隆、遠藤周作との出会いを通して、次々と著作を発表。現代に則した靈性探求の先駆者として、世界に広く知られている。85歳で歸天。



第2版  
好評発売中！

マリー=ユジエーヌ神父が十字架の聖ヨハネを生き、体験し、確認した教えなのです。ですから、十六世紀の十字架の聖ヨハネの教えは現代の人々にも十分適応されます。また、神の命を伝え、実践的手段を示して聖性の最も高い段階へと導こうとする彼の配慮が伝わってきます。（「はじめに」より）

福者マリー=ユジエーヌ神父に導かれて  
**十字架の聖ヨハネの  
ひかりの道をゆく**  
**伊従 信子 編・訳**  
ISBN978-4-88216-372-5 C0195  
定価**540円(税込)**  
【聖母文庫】**287**



## 神と親しく生きる いのりの道

福者マリー=ユジエーヌ神父とともに  
R. ドグレール / J. ギシャール 著  
伊従 信子 訳

ISBN978-4-88216-307-7 C0195 [聖母文庫] **246**  
定価**540円(税込) 209頁**



## わたしは神をみたい いのりの道をゆく

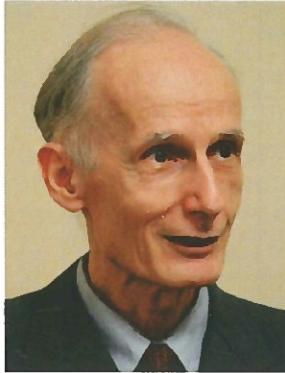
マリー=ユジエーヌ神父とともに  
伊従 信子 編・著

ISBN978-4-88216-339-8 C0195 [聖母文庫] **268**  
定価**648円(税込) 281頁**



— ご注文・お問い合わせ先 —

**聖母の騎士社** ☎850-0012 長崎市本河内2-2-1  
TEL.095-824-2080 FAX.095-823-5340



## クラウス・リーゼンフーバー小著作集

(全五巻) 四六版・434頁～628頁

各巻 本体 3,800～5,000 円+税

著者は日本における中世哲学研究を牽引し、広汎にわたるキリスト教思想史の著述や編集・出版を手がけてきた。宗教家としても、キリスト教信者のみならず信仰に初めて出会う一般社会人と広く向き合い、講座や黙想会などを開いてキリスト教の精神と実践、信仰における超越との関わりを伝えている。人間の自己理解から出発し、聖書と哲学的な理解とを構架して、キリスト教信仰と靈性を現代人にとって生き生きとした形で展開している。講義、執筆活動をとおして西洋古代・中世さらに現代哲学思想をわかりやすく説く。この著作集は40余年の著述活動による150余の小論考からなっており、靈的な信仰理解と人間の経験とを結びつけて互いに支え合うものとして示そうとするものである。

人生の意義の解明と存在への問い。人生をめぐる哲学的・思想史的・人間論的な諸観点のもとで、聖書に基づいて第一根源である神を中心に展開する。

ISBN

定価(本体+税)

第 1 巻	I 超越体験 一宗教論	9784862852151	3,800 円+税
	宗教の人間論的基礎付けを「意義への問い合わせ」という観点から考察した宗教哲学論文集。宗教的理義と経験がキリスト教的精神に基づいて絡み合い、人間の心を考察して全体の根源的な起源へ向ける。全11作、434p		
第 2 巻	II 真理と神秘 一聖書の黙想	978-4862852175	4,600 円+税
	日常生活を貫いて人間とかかわる絶対的神秘を、聖書を紐解きつつ多面的な観点から浮き彫りにする。超越との関係を求める人に向けて、宗教的経験を解明する。全35作、544p		
第 3 巻	III 信仰と幸い 一キリスト教の本質	9784862852205	5,000 円+税
	主の祈り、信条の命題に沿って信仰の全体像を解説。「山上の説教」をとおして人生における艱難辛苦にも焦点を合わせる。十字を切ることの意味など、聖霊の神学と靈性から信仰生活の深みを照らす。全38作、628p		
第 4 巻	IV 思惟の歴史 一哲学・神学的小論	9784862852212	4,000 円+税
	古代から中世のキリスト教思想史の考察の上に立脚し、現代における信仰をめぐっての根本的な問い合わせを洞察する。人間と神理解の可能性を新たに拡げて信仰生活の深みに掘下げる。全41作、448p		
第 5 巻	V 自己の解明 一根源への問い合わせと坐禅による実践	9784862852229	4,200 円+税
	信仰との関わりの薄い現代人に向け、自己への問い合わせから発した人生の意義と超越への方向付けを見出す実践的な道筋を示唆する。「今」を中心とする存在論・時間論を展開した最終講義「時間です！」収録。全35作、470p		

### ●リーゼンフーバー、クラウス [Riesenhuber, Klaus]

1938年ドイツ生まれ。1958年イエズス会入会。1967年ミュンヘン大学哲学博士。同年来日。1969年上智大学文学部哲学科専任講師。1971年東京で司祭叙階。1974年上智大学中世思想研究所所長(-2004)。1981年上智大学教授。1989年上智大学神学博士。国公私立大学で客員・非常勤講師。放送大学客員教授。2009年上智大学名誉教授。現在は哲学的人間論および宗教哲学などの講座を開講。

知 泉 書 館 〒113-0033 東京都文京区本郷1-13-2 TEL: 03-3814-6161 FAX: 03-3814-6166

<http://www.chisen.co.jp>



## 朝日カルチャーセンターの 通信深読「聖書に親しむ」へのご案内

「通信深読」は、「聖書深読黙想会」にさまざまな理由で参加できない方々のために考案されました。参加を希望される方は、下記の朝日カルチャーセンター通信講座課へお申し込みください。手続きがすめば、次のような手順でこの「通信深読」が行われてゆきます。

### ファースト・ステップ

「個人素読」：毎月、朝日カルチャーセンターから指定された聖書深読箇所を、ひとりで繰り返し読み、み言葉を自由に黙想します。

### セカンド・ステップ

「個人素読」の報告書作成：送られてきた用紙（B5用紙）に、深読箇所で特に印象に残った節を二三ヶ所選び、番号と○や△や×などの記号を記し、「全」には、全体の印象を表す、ご自分の体験と結びついた具体的な名詞を、「照」にはみ言葉を実践する決意を示す動詞を書き込みます。さらに「所感」や「近況報告・質問」の欄に、ご自由にご自分の考え方や質問等を記入します。

### サード・ステップ

(参加者から朝日カルチャーセンターへ送られた「個人素読」の報告書は、参加者全員のものがまとめられ、講師へ送られます。)  
講師が各参加者の「個人素読」の報告書に対しコメントし、深読箇所の「解説」（A4 2枚）と共に、朝日カルチャーセンターへ送り返します。

### フォース・ステップ

コメントされた全員の「個人素読」の報告書（「近況報告・質問」はプライベートなものもあるので、削除されます）と「総合素読表」、そして講師の「解説」が冊子となり、各参加者に、センターから送られます。

\* 費用：6ヶ月（20,360円）。納入は4月、7月、10月、1月。継続の場合19,130円。

\* 講師：九里彰師（奇数月）、今泉健師（偶数月）

\*問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル

私書箱21号 朝日カルチャーセンター通信講座課

Tel: 03-3344-2527（直通）

## カルメル会の企画案内



カルメル会の標語

**Zelo zelatus sum pro Domino Deo exercituum**

私は万軍の神、主に情熱を傾けて仕えてきました（列王記上 19：10）



## 東京 上野毛 灵性センター

默想企画 \* \* 上野毛 聖テレジア修道院（默想）\* \*  
(2024年4月～)

- ・聖書深読默想会(土曜日18時～日曜日16時) カルメル会士

2024年

4月 20日～21日 11月 9日～10日

5月 25日～26日 2025年

7月 27日～28日 1月 11日～12日

9月 28日～29日 3月 15日～16日

- ・奉獻生活者のための默想会 (初日17時～最終日朝食) カルメル会士

~~2024年8月16日（金）～25日（日）~~ 中止

★教会の祈り（時課の祈り）を軸とした 黙想の場を提供いたします。

12月 27日（金）～1月 5日（日）

### 【ご利用に際して】

- ・介助やサポートなしで生活できる方、年齢は80歳までとさせていただきます。
- ・上記に抵触する方はお問合せ下さい。
- ・個人の場合はご家族・ご親族に、奉獻生活者の場合は長上にお申込者の状況をお伺いした上で、利用をご遠慮願う場合もありますのでご了承下さい。
- ・部屋は2・3階でエレベーターはありません。階段をサポートなしに1人で昇り降りできない方はご利用いただけません。



- \* 日程、指導司祭は変更される可能性もあります。お申込みの際には、ホームページ (<http://www.carmel-monastery.jp>) なども合わせてご覧下さい。
- \* こちらに掲載されている以外の日時にもご利用可能です（グループ、個人いずれも）。お気軽にお問い合わせください。
- \* 間違いを避けるため、お問い合わせは FAX・はがき・E メール等、文書でお送り頂けますと幸いです。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院(默想)

Tel:03-5706-7355 Fax:03-3704-1789

E メール : [mokusou\\_kmng@carmel-monastery.jp](mailto:mokusou_kmng@carmel-monastery.jp)

ホームページ : <http://www.carmel-monastery.jp>



## 宇治カルメル会 黙想会案内 (2024年9月～2025年3月)

**【一般のための黙想】** 1泊2日（土曜 午後5時～日曜午後4時） 中川博道神父  
5:30 サルヴェ・レジーナ（修道院）から開始

2024年

9月14日～15日 11月16日～17日

2025年

1月18日～19日 3月1日～2日

**【聖書深読】**（土曜午前10時～午後4時） 中川博道神父

2024年

9月28日 11月30日

2025年

1月11日 3月15日

**【水曜黙想会】**（午前10時～午後4時） 中川博道神父

2024年

9月18日 10月16日 11月20日

2025年

1月22日 2月19日 3月19日

**【カルメルの靈性】**（午後5時～午後4時）

幼き聖テレジア 9月28日(土)～29日(日) 松田浩一神父

十字架の聖ヨハネ 12月21日(土)～22日(日) 中川博道神父

**【祈りの学校 入門編】**（火曜 午前10時～午後4時） 松田浩一神父

2024年

9月17日 11月12日 12月3日

**【祈りの学校 教会の祈り】**（木曜 午前10時～午後4時） 松田浩一神父

2024年

9月26日 10月17日 11月14日 12月19日

**【奉獻生活者の黙想】**（午後5時～午前9時）

2024年

10月7日(月)～16日(水) 中川博道神父(一般可)

12月27日(金)～1月5日(日) 中川博道神父(一般可)

2025年

3月4日(火)～13日(木) 中川博道神父(一般可)

**【青年男女のための黙想会】(35歳以下) 松田浩一神父**

**1泊2日(土曜午後5時～日曜午後4時 日曜のみ参加可)**

**2024年**

**10月19日～20日**

**—その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします—**

**☆お申し込みは電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申込み下さい。お電話はなるべく午前9時～午後5時の間にお願い致します。受付が休みの場合はその場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様にお願い致します。**

**聖書は各部屋に備えております。またタオル類も準備しておりますが、コロナ感染症対策のため各自専用分を持参してもかまいません。**

**現在は感染防止策のため人数制限をしていますので黙想参加希望の方は早めのお申し込みをお勧めします。**

**また参加の際には三密回避などを心がける様ご協力お願い申し上げます。**



**〒611-0002 京都府宇治市木幡御歳山39-12  
宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)**

**Tel 0774-32-7016 Fax 0774-66-1191**

**E-Mail:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp**

**<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>**

# アビラの聖テレジアの祭日ミサ と小講話のお誘い

(テーマ：異教の地で神の愛に生きる聖女の靈性)

2024年10月15日（火曜日）10時～ミサ・小講話

場所：カルメル会宇治修道院聖堂

司式：松田浩一 神父 （男子跣足カルメル会）



お問合せ：〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12

カルメル会宇治修道院

Tel 0774-32-7456 (10時から16時まで)

Fax 0774-32-7457

E-mail : [teresiauji@mountain.ocn.ne.jp](mailto:teresiauji@mountain.ocn.ne.jp)

# 「祈りの学校」(2024年度)

キリスト教の祈りを学び、実践する企画です。イエス様から教会へ伝承された「祈り」に基づいて、そして教会の中で培われた「祈り」について学んでいきます。



**日時(入門編) :** 1月 30 日 (火) 2月 20 日 (火)、3月 19 日 (火)、4月 9 日 (火)、5月 7 日 (火)、6月 4 日 (火)、7月 2 日 (火)、9月 17 日 (火)、11月 12 日 (火)、12月 3 日 (火)

**\*日時(教会の祈り) :** 1月 11 日 (木)、2月 13 日 (火)、3月 21 日 (木)、4月 18 日 (木)、5月 23 日 (木)、6月 20 日 (木)、7月 11 日 (木)、9月 26 日 (木)、10月 17 日 (木)、11月 14 日 (木)、12月 19 日 (木)

いずれも、10時から16時まで

場所：宇治聖テレジア修道院（黙想）

指導：松田浩一 神父（男子カルメル修道会）

持参するもの：ノート、筆記、ロザリオ（\*『教会の祈り』）

お問合せ・お申込みは、FAX、ハガキ、E-mailにてお願いします。

〒158-0093 京都府宇治市木幡御藏山 39-12

カルメル会宇治聖テレジア修道院（黙想）

Fax 0774-32-7456

E-mail : teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

# カトリック教会 カルメル 青年たちの学び

## 教皇フランシスコの著作を学びましょう

- 日 時 : ① 2024 年 2 月 10 日 (土) PM5 時～2 月 11 日 (日) PM5 時  
② 2024 年 4 月 20 日 (土) PM5 時～4 月 21 日 (日) PM5 時  
③ 2024 年 6 月 15 日 (土) PM5 時～6 月 16 日 (日) PM5 時  
④ 2024 年 10 月 19 日 (土) PM5 時～10 月 20 日 (日) PM5 時



(尚、日曜日 PM4 時から京都女子カルメル修道院でミサの予定)

- ① 教皇来日講話集：『すべてのいのちを守るため』
- ② 使徒的勸告 『喜びに喜べ』
- ③ 使徒的勸告 『愛のよろこび』
- ④ 回勅 『ラウダート・シー』と使徒的勸告『ラウダーテ・デウム』

教皇フランシスコは、現在起こっている各地の戦争を憂慮しています。日本も国際社会の一員として他人ごとではありません。私たちの思いを凌駕する神の思いとは何でしょう。人間の正義を凌駕する神の義は「いつくしみ」とテレーズは言います。教皇の著作からこのことを学ぶことに致しましょう。

場 所：宇治聖テレジア修道院（默想）

対 象：35 歳までの青年男女

参加費用：下記の E-メールか、FAX でご確認ください。

講話と同伴：松田浩一神父

申込み：〒611-0002 京都府宇治市木幡御藏山 39-12

カルメル会聖テレジア修道院（默想）

FAX : 0774-32-7457

Email : teresiauji@mountain.ocn.ne.jp



## 旧約聖書から学ぶキリスト教靈性 —キリストの十字架の恵みをより味わうために—

2024年9月21日（14：30～16：30）

レビ記の全体構造とメッセージ②（神聖法集）

—シャロームの実現のために、神の創造のわざを引き継ぐ—

2024年10月19日（14：30～16：30）

サムエル記の全体構造とメッセージ①

その後の日程：11月16日、12月21日

2025年1月18日、2月15日、3月15日

その後のテーマ：列王記の全体構造とメッセージ、

エズラ・ネヘミヤ記の全体構造とメッセージ、など

持ち物：必ず聖書（旧約+新約）をご持参ください。

場所：跣足カルメル修道会日比野修道院（カトリック日比野教会）

参加費無料。

担当：志村武神父（跣足カルメル修道会）

問合せ：日比野修道院（052-671-1003）

---

### 静修の集い（名古屋日比野修道院）

2024年10月26日（土）10：00～15：00

講話担当司祭：九里彰神父

#### 【スケジュール】

10：00～10：20 はじめの祈り

10：30～11：30 講話①

11：30～12：00 ご聖体顕示、念祷

12：00～13：00 昼食（各自持参）

13：00～14：00 講話②、

14：10～ミサ、その後茶話会、解散（15：00頃）

持ち物：昼食（各自）

参加費：無料（自由献金をお願いいたします）

以降の日程：12月14日（志村武神父）

# 番組案内

2024年 春 夏  
2024.4~9



夜 9:30~

月

[月～金] FEBCTODAY—今日の聖書・今週の讃美歌—  
夜9:30～ 恵子の郵便ポスト

主日礼拝取材番組

全地よ、主を  
ほめたたえよ

[第1]日教会  
高知教会

[第2]日教会  
小岩教会

[第3]ホーリネス  
東京中央教会

[第4]日教会  
石動教会

[第5]日教会  
久万教会

テセ・  
みこころの歌

植松 功 黙想と祈りの  
集い準備会世話人

AMラジオ放送

スマホで聞ける！

AM1566kHz 毎夜9:30～

日本FEBC

キリスト教放送局

[www.febcjp.com](http://www.febcjp.com)

土

夜9:30～

神との親しみ  
を深める

ために（再）

英 隆一朗  
イエズス会司祭、  
六甲教会主任司祭

夜9:53～

Kishikoの  
ひとりじや  
ないから

Kishiko 歌手

[第1]夜9:30～

いのちのパンと  
こわから私の達

亀田 威  
ホーリネス大網  
キリスト教会主任牧師

[第2]夜9:37～

ポンヘッファーの  
説教に聴く（再）

村上 伸  
日基督教元牧師

[第1～3]夜10:04～

コーヒープレ  
イク・インタ  
ビュー

小林和夫 ホーリネス  
東京聖書学院牧師

御心の響き  
服部みぎわ

金

[第1]夜9:40～

Echo of Voices

いのちのパンと  
『ねちゃんねる』

から

夜9:53～

Kishikoの  
ひとりじや  
ないから

Kishiko 歌手

[第1]夜9:30～

先達の声  
朗読

ゲオルギイ  
松島雄一 大阪ハリ  
ストス正教会管轄司祭

[第2]夜9:37～

旅の音、心の音（再）

飯 靖子 日基督教  
靈南版教会聖歌隊  
指揮者・オルガニスト

[第3・4]夜9:37～

生きるとは、  
リストト

小林和夫 ホーリネス  
東京聖書学院牧師

木

夜9:48～

「いのち」を  
いただく

御言葉默想

「いつも、  
そしてともに」

一マタイによる  
福音書（再）

井幡清志  
日基督教元牧師

山内十束  
御受難修道会、  
宝塚默想の家司祭

夜10:02～

ザ・ストーリー  
キヨウから

夜10:00～

夜10:14～

主に向かって  
祈りのともじび

平野克己 日基督教  
代田教会牧師

夜10:28～

Sr.岡の「だから、  
大丈夫」

山下正雄  
RCJメディア・  
ミニストリー代表

火

夜9:47～

新 光、  
イイススと  
いうお方【2】

新 いつも、  
そしてともに

新 ゲオルギイ  
松島雄一 大阪ハリ  
ストス正教会管轄司祭

新 井幡清志  
日基督教元牧師

新 山内十束  
御受難修道会、  
宝塚默想の家司祭

新 夜10:14～

心のうた

Echo of  
Voices

長倉崇宣

夜10:28～

ふらつと  
トーク

夜10:28～

御足の  
跡を

中川信一  
長倉崇宣

夜10:22～

Meguの  
CCM insight!

水

夜9:47～

FEBメイン・パーソナリティー 吉崎恵子

光、  
イイススと  
いうお方【2】

新 先達の声  
朗読

新 いつも、  
そしてともに

新 井幡清志  
日基督教元牧師

新 山内十束  
御受難修道会、  
宝塚默想の家司祭

新 夜10:14～

心のうた

Echo of  
Voices

長倉崇宣

夜10:28～

テセ・  
みこころの歌

植松 功 黙想と祈りの  
集い準備会世話人

夜10:22～

御心の響き  
服部みぎわ

日

夜9:48～

[月～金] FEBCTODAY—今日の聖書・今週の讃美歌—

夜9:30～ 恵子の郵便ポスト

FEBメイン・パーソナリティー 吉崎恵子

光、  
イイススと  
いうお方【2】

新 先達の声  
朗読

新 いつも、  
そしてともに

新 井幡清志  
日基督教元牧師

新 山内十束  
御受難修道会、  
宝塚默想の家司祭

新 夜10:14～

心のうた

Echo of  
Voices

長倉崇宣

夜10:28～

テセ・  
みこころの歌

植松 功 默想と祈りの  
集い準備会世話人

# 諸所の企画案内



真命山 靈性交流センター  
サダナ瞑想  
慈しみ深き会

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。  
記載には注意を期しておりますが、  
詳細は各問い合わせにご照会下さい。  
よろしくお願い致します。

テーマ 真の幸せへの道

「…あなたがたは喜びで満たされる」

(ヨハネ 16. 24)

毎月第2木曜日 (10:00~15:00)  
予約は前日の16:00まで

- 1月 11日 「イエスは...群衆を見て、山に登られた」 (ソットコルノラ・フランコ神父)  
2月 8日 「神よ...あなたのほかに しあわせはない」 (ソットコルノラ・フランコ神父)  
3月 14日 心の貧しい人々は、幸いである (コデノッティ・クラウディオ神父)  
4月 11日 悲しむ人々は、幸いである (コデノッティ・クラウディオ神父)  
5月 9日 柔和な人々は、幸いである (Sr. マリア・デ・ジョルジ)  
6月 13日 義に飢え渴く人々は、幸いである (コデノッティ・クラウディオ神父)  
7月 11日 懐れみ深い人々は、幸いである (コデノッティ・クラウディオ神父)  
8月 休み  
9月 12日 心の清い人々は、幸いである (コデノッティ・クラウディオ神父)  
10月 10日 平和を実現する人々は、幸いである (Sr. マリア・デ・ジョルジ)  
11月 14日 義のために迫害される人々は、幸いである  
(コデノッティ・クラウディオ神父)  
12月 12日 喜びなさい。大いに喜びなさい。 (コデノッティ・クラウディオ神父)

・個人またはグループでの黙想会  
研修会も歓迎いたします (要予約)



申込先

真命山 諸宗教対話センター  
865-0133 熊本県玉名郡和水町蜻浦  
1391-7

e-mail: [shinmeizan@gmail.com](mailto:shinmeizan@gmail.com)  
[www.shinmeizan.com](http://www.shinmeizan.com)  
Tel:0968-85-3100  
Fax:0968-85-3186

# サダナ瞑想 ~東洋の瞑想とキリスト者の祈り~

プログラムの詳細、開催状況、補充情報などはホームページをご覧ください。

<http://sadhana.jp/>

申込み受付・・開始日の8日前まで

コース	日 時	指導	開催場所	申込み
入門 A	9/29(日) 9:30～17:00	Fr. 植栗	援助修道会 リヒト宣教室 (市ヶ谷)	来間(くるま) 裕美子※ TEL:090-5325-2518 sadhana12378@ yahoo.co.jp
浜名湖 リピーターの会	10/12(土)9:00～ 14(月・祝) 16:00 *前泊可	同上	浜松三ヶ日研修所 (浜松市北区)	同上
フォローアップ	10/20(日) 9:30～17:00	同上	シャルトル聖パウロ 修道女会九段修道院 (千代田区九段北)	同上
入門 B	10/27(日) 9:30～17:00	同上	援助修道会 リヒト宣教室	同上
名古屋 リピーターの会 A	11/2(土) 9:30～17:00	同上	聖霊会八事修道院 ミッショナリーセンター (名古屋市昭和区)	攬上(かくあげ) 晓子 TEL:050-7108-7410 ngosdn@gmail.com
名古屋 リピーターの会 B	11/3(日) 9:30～17:00			
名古屋 フォローアップ	11/4(月・祝) 9:30～17:00			
入門 C	11/17(木) 9:30～17:00	同上	援助修道会 リヒト宣教室	来間(くるま) 裕美子※
サダナ I	11/21(木)17:30～ 24(日)16:00	同上	カルメル修道会上野毛 修道院(世田谷区)	同上

※ショートメールは避けてください。申し込みると確認メールが返信されます。確認メールが届かない場合は090-5325-2518(来間)までお問い合わせください。

※不在の場合は、渡辺由子/Tel & Fax : 042-325-7554

●フォローアップおよびリピーターへの参加…サダナIを終えていること。

●入門Cへの参加…入門Aまたは入門Bを終えていること。



# 祈りの集い

～沈黙の内に神を求めて～

今年は1月1日に、能登半島地震が起き、輪島市、珠洲市など、能登地方の人々は、家の倒壊、道路の地割れなど、甚大な被害を受けました。233名の方が亡くなられ、1175人が怪我をされ、1万5309人が今なお避難生活を余儀なくされています(1月23日現在)。一日も早く平穏な生活に戻れるよう、心からお祈りしたいと思います。

今年度の「祈りの集い」の前半では、「祈りについての講話」をいたします。今まで、アビラの聖テレジアや十字架の聖ヨハネ、モーリス・ズンデルや聖書などをテキストとして使用してまいりましたが、今回は、ウイリアム・ジョン斯顿神父の著作『愛と英知の道——すべての人のための靈性神学』(2017年、サンパウロ社)を少しずつ読みながら、祈りについての理解を深めて行きたいと思います。

後半では、すべての存在(無機物から植物や動物や人間)を支えておられる、憐れみ深い神の前にありのままの自分を置き、祈りの内に神との交わりを深め、神の声に静かに耳を傾けて行きましょう。

場所:イグナチオ教会岐部ホール 404号室

(JR・地下鉄丸ノ内線・南北線四ツ谷駅徒歩1分)

時間:以下の木曜日、13:30~15:30

9月12日 11月14日

主催:慈しみ深き会

指導:九里 彰くのり神父(カルメル修道会)

\* 参加費無料(献金歓迎)

\*問い合わせ先:042-473-6287 篠原(11:00~20:00)

# 『靈性センターニュース』

## \* 郵送終了のお知らせ \*

『カルメル靈性センターニュース』はWeb掲載移行に伴い、冊子の発行を終了しております。

これまで月刊誌として郵送を行って参りましたが、今後は  
Webにてご覧下さい様、お願い致します。

**宇治カルメル会修道院ホームページ**

<http://www.carmeluji.sakura.ne.jp/>

「カルメル靈性センターニュース」(PDF)をクリック  
過去のバックナンバーも揃って掲載しております。  
どうぞご活用下さい。

また引き続きご献金もお願いしております。

郵便番号口座： 00910-6-333184  
加入者名： カルメル靈性センターニュース事務局

何かご質問等があれば、事務局の方にご連絡ください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御藏山 39-12  
カルメル会宇治修道院 「靈性センターニュース事務局」  
Tel:0774-32-7456  
Fax:0774-32-7457  
[reisei@carmel-monastery.jp](mailto:reisei@carmel-monastery.jp)

男子跣足カルメル修道会のホームページ

<http://www.carmel-monastery.jp>

Google:「カルメル会」で検索できます



男子跣足カルメル修道会  
Order of Discalced Carmelites

靈性センターニュース掲載の情報も載っています

